



岩手Mac友の会

Vol.11, No.3 2000.2.22

Iwate Macintosh Funclub



2000年最初のNews !

通算48号(この号)が2000年最初の林檎になります。だから何だ!と言われると困りますが、何か特別な感じがするのは私だけでしょうか。このため編集会議では、発行日を例会の日では無く、2が並ぶ2000年2月22日とすることに満場一致で決まりました。

この号が皆さんのお手元に届く頃は、MACWORLD Expo. Tokyo が終わっている頃でしょうが、一足先に開催されたMACWORLD Expo San Francisco では、Appleからインターネットサービスが開始されたと言うニュースが入ってきました。今までメーカーだったApple 社が、今度はサービスを提供すると言うことを始めて話題を呼びました。また、Appleのホームページや雑誌に付録のCD-ROMではジョブス氏の MacOS X/Aqua のプレゼンを見ることができ、新OSへの期待も集まっています。



AirMacって?

確かアメリカでは AirPort という製品名で売られていた無線 LAN の装置が日本では AirMac という名前で発表されました。

日本では既に Airport という名前は商標登録されていて、日本のアップル社では利用できないそうだという噂は聞こえてきていて、どんな名前にするのか興味津々でしたが、発表された名前は



でした。

この名前については賛否両論あるのですが、めでたく日本での名前も決まり、発売されることになったのは嬉しいことでしょう。

家の中にケーブルを引き回すのは大変なことで、特に配線用のパイプが埋め込まれて居なかったり、最近の気密性が高い住宅ではドアなどの隙間も無くて大変でしたが、配線の必要が無くなるのは便利このうえないし、見栄えも良いですね。

会員名簿の整理

年会費の振り込みが結構面倒臭くて、継続の意志があっても会費の振り込みが滞っている会員が多いのでは?という配慮から、会員名簿に残している人が沢山いたのですが、今回見直しを行いました。

会員名簿のページを御覧になって名前が消えている人は、次号から会報の発送が無くなります。会費の納入方法などは会員名簿のページ詳しく載っていますので、継続の意志がある方は会費の納入を!



Inside

MMM'99報告-----	2
私のMaclife-----	6
私の PDA life -----	8
i 狂う図-----	10
編集後記 -----	11
会員名簿 -----	11
掲示板 -----	12

MMM'99報告

Meet the Macintosh in Morioka (Winter APPI)
1999 December 11th & 12th 2 days !!



1999年も押し迫った師走の11・12日。毎年恒例のMMMが昨年と同じ安比高原のペンション「シュークリアプール」を会場に開催されました。私が会場に着いた2時半過ぎには曇り空でしたが、夕方以降次の日の朝までは大雪となり、しんと降る雪の中でのMMMとなりました。参加者はSRAの青木さんと佐原さんをはじめ13人。当初参加予定だった佐藤護人先生（本紙編集長）が急な都合のため不参加となってしまったのが残念でした。

3時過ぎ、まあ、ほぼ予定通りの時間に開会しました。



ゲストのお二人

トップバッターは、SRAの佐原さん。「Macintoshで本を書くための諸ツールとその使い心地」と題された発表は、FrameMakerとVoodooのデモが中心でした。

FrameMakerは、「定形文書作成に特化したワープロソフト」という言い方が分かり安いと思います。マニュアル本のような、どのページも同じ枠組にテキストを流し込むような場合、とても便利だと思いました。特に発表では「目次の自動作成」「索引の自動作成」のデモがありました。横書きしかできないのが気にかかりますが、縦書きの必要が生じない分野の方であれば、PageMakerよりもむしろFrameMakerの方が使い安いと思います。オススメです。

続けて、ファイルの履歴を管理す



るソフトとして、Voodoo（図1）が紹介されました。これはファイルの変更箇所（差分）だけを記録できるほか、古い履歴のファイルを別ファイルとして保存出来ます。また、テキストファイルの新旧比較も可能、しかも、変更箇所の文字列を強調表示してくれる。複数人で一ファイルを校正するのに便利なツールとして、非常に興味深いソフトでした。競合する製品としては、FlashBack（図2）が思い浮かぶわけですが、こちらはファイルの履歴は取れるものの、誰が、いつ、どのファイルを変更したのかというログが残せないという点でVoodooに劣りますね。

最後には、ドキュメントトーカーにテキストを読ませて校正をするという活用方法の紹介がありました。目で追うと見逃しがちな脱字や表現の適切さを、耳で聞けばチェックできるのだそうです。

SRAの青木さんの発表は、夕食前と夜との二回ありました。夕食前の発表では、「MEGUMI」で事前予告のあった、自作！お土産ソフトのデモが中心でした。

＊お土産1：ASCII to picture

画像をASCII文字に置き換えて文字絵を作成するソフト。

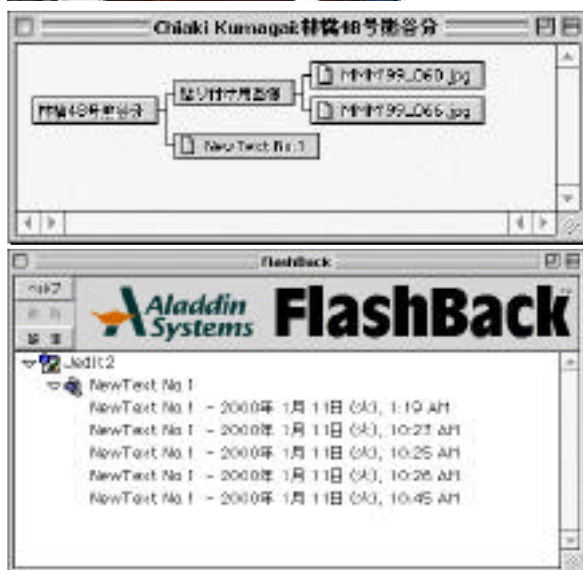


図1

Voodooの
ウィンドウ
私も早速試してみました。このソフトの魅力は、複数人で書き込むファイルの履歴管理に特化していることです。一人で使うなら、Flash Backかなあ。

図2

AladdinSystems
FlashBackの
ウィンドウ

＊お土産2：EudoraMailBox

EudoraのMailBoxを読み込み、htmlで保存できるソフト。（図3）

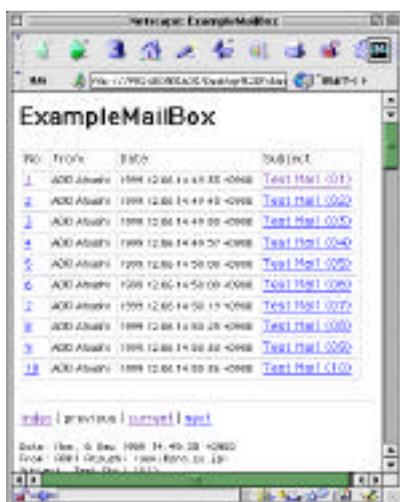


図3 EudoraのMailBoxがhtml化

Sherlock2がhtmlファイル内の検索にも対応したこともあって、メールそのものに装備されている検索機能よりも便利かもしれないですね。htmlファイル一つになってしまうので、メールへの添付もバックアップも楽々！です。

＊お土産3：フリーソフト「じゅん」

去年のMMMでも見せていただいたソフトでしたが、今回はMacintoshにも対応したということで、希望者には配付されました。Mac OS9からOpenGLがサポートされたことに伴いマック版も作ったのだそうです。

11月27日にパルソビルで行われたDIG99でも紹介された動画を、またじっくりと見せていただきました。3Dグラフィックスとその周辺の話題が中心でした。

夕食後の話題は、元々予定してこられた「画像の特徴抽出-コンクリートコア断面の骨材面積率計算」と題された発表でした（写真は次頁）。骨粗しょう症患者の骨の解析技術や、リュウマチ患者のレントゲン写真の解析技術が、コンクリート断面の骨材とコンクリートの割合計算に応用されているのには驚きました。これまではハンマーでコンクリートを砕いて、骨材とそれ以外に

を分け、重さを量っていたのだそうです。ようやくこの分野もコンピュータ化ですね。

IMF も凄いです！

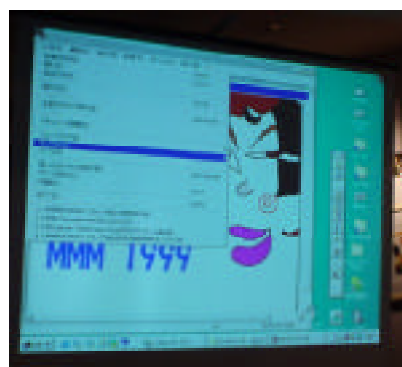
IMF一人目は藤原さん。「デジカメで取った画像をファイルメーカーで管理するためには」という題。

シートコーポレーションで開発している画像ファイルの自動取り込みテンプレートを用いた事例の発表でした。

ファイルメーカーへ画像を登録して管理すること自体は、それほど難しい作業ではありません。しかし、せっかくカタログ化しても、その後の活用方法を考えると、どのようなフィールド定義をすれば最も使い勝手がよくなるのか、迷ってしまうところですよ。

ところが今回紹介されたファイルの設計は「もう至れり尽くせり！」。カタログ上から、別ファイルとしての保存が可能であるほか、クリエイタを指定して開くことや、オリジナル画像ファイルのリネームが可能でした。

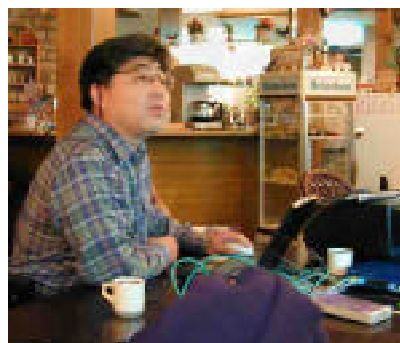
発表の最後には、DDIハイブリット携帯電話機（HTM）を使用し、64Kでインターネットに接続。そこで自宅のWindowsマシンにTimbuktuでアクセス。すると、「祝MMM'99」の画像がスクリーンに出てくるといふ、まさに文字通りの離れ業を披露されました。この発表のために仕込んであったのだ！さすがだ！！



自宅のPCを遠隔操作している模様



二人目は長土居さん。これまでMMMやその他の発表の場で使用してきたプレゼンテーション用ファイルを様々見せていただきました。



三人目は白石さん。Resorcererを用いた英語版ソフトの日本語化作業についての発表でした。メニューやアラートの用語統一の仕方など、その複雑な作業のデモを見ました。

ここで、ディナータイム。



夕食の準備が整うまでしばし歓談



佐々木さんを加えて再度乾杯！



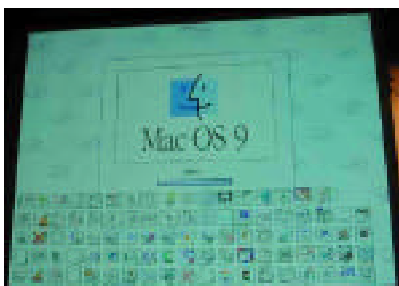
前菜はこんな感じ 美味でしたよ



食事後の回らん風景

夕食後も続けて白石さん。今度は、VirtualPC3.0のデモ。今回のバージョンアップで変更された点を分かりやすく解説していただきました。中でも、私の印象に残っている話題は、以下の二つの話題でした。

一つ目は、MacのIPアドレスをVirtualPC内のWindowsでもそのまま使えるようになったという点。WinはIPアドレスを変更すると再起動が



白石システム起動中 えっ五段！

必要なのですが、Mac側との共有が可能になったことで、その手間が省けることになります。Macには「作業環境マネージャ」がありますから、Win環境で必要なIPアドレスもMac側で設定しておけば、ますます楽に使えますね。もちろん、Win側で独自のIPアドレスを振る機能はこれまで通り残されていました。

二つ目は、Win側とMac側とでクリップボードを共用できるという点。双方で同一ソフト（例えばExcel）を起動しておけば、コピー＆ペーストでデータの交換が簡単にできてしまいますね。便利だ！

徳富先生の発表は「NikonCoolPix 950を使った接写の方法・簡単な画像管理法」というタイトル。口内写真を撮る際の苦労話やら自作の撮影装置の紹介がありました。模型を持参しての発表でした。快適な環境を食欲に求める姿勢に、今回も感心させられました。



徳富先生の発表が始まっているのに、なかなかスクリーンを渡さないS氏。

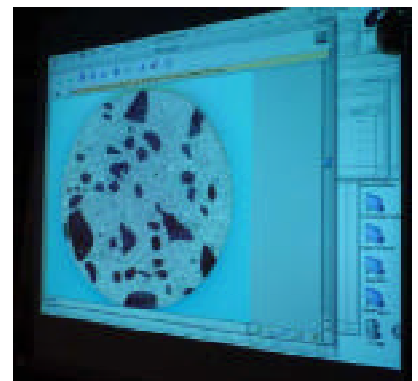
Fabricの佐々木さんの発表は、「東和コミュニティネットワークプロジェクト」と題された、東和町の子供たちとの取り組みの紹介でした。「街に出て自由に顔（に見えるもの風景や建造物）を撮ってくる」という企画のデジタルビデオ映像が上映されました。子供たちの柔軟な発想が現われた写真群には本当に驚かされました。また、地域と学校との連携の在り方として、大変示唆的な内容でした。

（個人的に興味をひかれたのは、Macとデジタルビデオ両方の映像をプロジェクター側のスイッチ一発で切り替えができる点でした。技術的に可能なことは知っていましたが、中々自分でやってみる機会がなかったのです。）

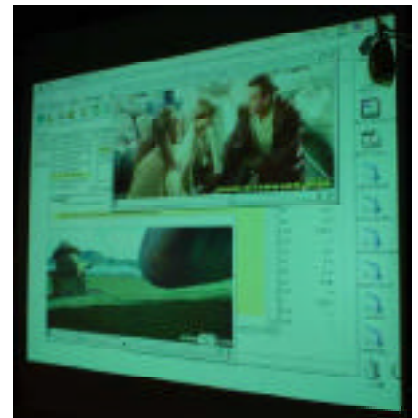
他には、鷹生ダム建設に伴う景観シュミレーションフィルムを見せていただきました。QuickTimeVRを使っているのかな？360°のパノラマは圧巻でした。春夏秋冬の風景、ダムの水位の変化による景色の変化、何年か後の周辺風景のシュミレーションが可能な映像技術は素晴らしいの一言。

ということで、深夜になりました。予定されていた、野村会長の「My時計の作り方」の発表がカットされてしまい残念でした。

各々の発表が終了した後は、フリータイムに突入。それぞれ普段困っていることや、最近買った機器の自慢話等々、盛り上がりしました。



コンクリートコアの断面（黒く見えるのが骨材部分） 青木さんの発表



「じゅん」for Macintoshで、QuickTime映像を再生。二画面同時再生可能。

フリータイム風景



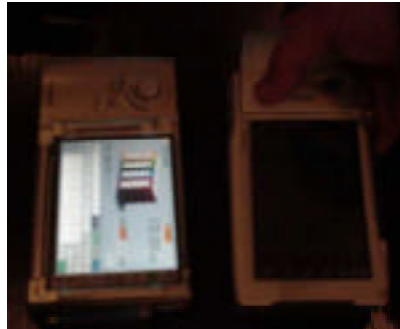
青木さん、プレゼン中。



徳富先生と神先生



青木さん所有のICRUISE。羨ましい！
「愛くるしい」からアイクルーズ.....
(なの?)



ICRUISE (左) とLocatio (右)
液晶製品は夕方から夜にかけて買おう

EPSON Locatio
(右) とSHARP
ICRUISE (下)

LocatioもICRUISE
もデジカメ・イン
ターネットが出来る
PDAの究極。
LocatioにはGPS機
能が搭載されてい
るので「くらっ」
と人もいるかもしれ
ない。でも待っ
た！！Locatioは液
晶が暗すぎて夜使
えないのだ！（左
の写真を見よ。）
衛星も...怪しい。



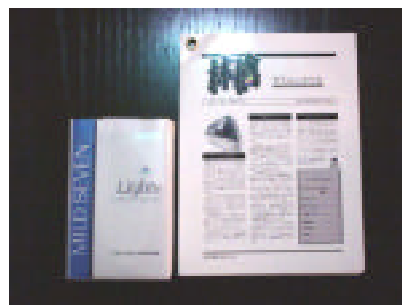
藤原さん！さっきの画像管理の仕方、もう一度お願い。



Sherlock2はそんなに賢いの？もう見つかったよ！
操作しているのは初参加の小野寺さん



土村さん、今年はライカじゃないの？(笑)



土村さん作「ミニ版『林檎』」
手のひらサイズ



朝の風景

文と編集：熊谷知曉

先日、ふとしたきっかけで「Think Different.」のCFを懐かしさとともに見る機会があった。
何気なく見始めたものだったのだが、C F 発表当時まだ学生だった私が感じた余韻と何か違った
ものを感じた。2年ぶりに見たそのCFは、今の私に対する一つの啓示であったのだ。

そう感じたとき、私は今「壁」にぶち当たっていることを悟ったのである。

クレイジーな人たちへ

クレイジーな人たちを讃えよう。
はみだし者、反逆者。
トラブルメーカー。
四角い穴に打ちこまれた丸い杭。
物事を違うところからながめている。

彼らは規則が好きじゃない。
現状を維持するなんて気にもかけない。

称賛してもいい。異議をとこなえるのもいい。
発言を引用してもいい。
信用しなくたっていい。
美化しようと中傷しようとかわまない。
だが、彼らを無視することだけはできない。

なぜなら彼らは物事を変えるからだ。
彼らは発明する。想像する。癒す。
冒険する。創り出す。インスパイアしてくれる。
彼らが人類の前に進めるのだ。

たしかにクレイジーにはちがいない。
そうでなければ、他のいったい誰が
無地のキャンパスに
芸術作品を見ることができるだろう？
いったい誰が沈黙の中に座って
まだ作られていない音楽を聞けるだろう？
あるいは赤い惑星をじっと見つめて
車輪に乗った実験室を見ることができるのか？

私たちはそんな種類の人々のために道具を作っている。
クレイジーとしか見られない人々だが
私たちには天才が見える。

自分是世界を変えることができる、と考えるほど
十分にクレイジーな人たちがほんとうに世界を変えるのだ。

Think different.

1997 copyright Apple Computer, inc.

MacLIFE
の7月

小野寺 俊博

1976年生まれ、23歳。岩手大学教育学部を経て、盛岡白百合学園
中・高等学校講師となる。PBG3/400(Bronze)とWorkPadc3を愛用。
E-mail:se30@drive.co.jp

高校時代、彼はアイデンティティがボロボロに崩壊するような経験を。恨み、嫉妬、憎悪。ありとあらゆる言葉を並べても語り尽くせないほど、それはあまりにも辛い出来事であった。当時の彼には、現在体験している不幸から逃れる術が何も見つからないまま、「どこにも行き場のない」やるせない絶望とともに日々を送るしか方法が見つからなかった。

それはもともと内向的で人見知りの激しかった彼を、ますます人から遠ざけるような出来事であった。

そんな中、彼の唯一の救いは大学への合格であった。例え仮であるにしろ、人生をリセットするチャンス。

その春、居場所を求めるかのように硬式庭球部に所属し、テニスに明け暮れる生活を送るようになる。入学後、それまで下降一方であった人生のバイオリズムが、徐々にではあったが上昇へと向かいはじめた。

しかし、やはり心のどこかにはまだその「過去」が残っていて、時々「過去」が顔をのぞかせるようになった。彼が完全に「過去」と決別に至るまでは、もう少しの時間と熱中できるもう一つの何かが必要だったのだ。

そんな折、科所属を決めなければならぬ時期が迫っていた。テニスしかなかった当時の彼には、それはどうでもいいものであった。将来を真剣に考えようとはしていなかったのだ。

「コンピュータを使ってみたくからセンター科にしよう。」それが彼の下した決断である。今考えて見ても、笑ってしまうくらい思い切った決断だった。

しかし、その決断から人生が急転しだす。

そこで、私はMacintoshというものに出会う。Macintoshは、私にとって何とも不思議な存在だった。それは裏切らない唯一の友人のように優しく彼に接してくれた。得も言われぬ「温かさ」が感じられるものだった。傷ついた自分を癒してくれる空間。Macintoshは当時の私に必要だった、まさに現実逃避の空間であったのだ。

そして次第に彼は「過去」を落着いて見つめられるようになっていく。

Macintoshが単なる現実逃避のツールで終わってれば、それはそれで良かったのかもしれない。でも、Macintoshは私にさらなる飛躍へのチャンスを与えてくれた。

それまで避けがちであった、人とのコミュニケーションを助けてくれる道具として。一度、奈落の底へ落ちた自分を、もう一度表の世界へ引き戻すナビゲーターとして。

Macintoshは私を外へと社会へと導くようになった。私が動かずしてもどんどん世界が、人とのつながりが広がるような出来事を次から次へと「起こしてくれた」のだ。恐ろしいくらいに。

今だから断言できる。あれは、本当にMacintoshのしわざであった。

私を「現実」へと引き戻してくれたのだ。

しかも、「情報」の教員として、私にあり余るほどのコネクションと恵まれた環境を用意して。

それが、最後のプレゼントだった。

大学を卒業すると同時に、Macintoshは魔法の力を放たなくなる。ぴったりとやんだ。

それはまるで、「これからは自分で道を切り開きなさい」と指し示すかのように。

巣立ちを目前にしたひな鳥を見守る親鳥のように。

一匹のひな鳥に、Macintoshは一つの大きな「宿題」を課した。

「情報」の教員として、どのような教育を行っていくのか。

大きすぎる宿題だった。

今、私はその「宿題」と格闘し、もがき苦しんでいる。学生時代にMacintoshを通して培った「情報」という教科に対する信念が、果たして正しいものなのかどうか、道をそれてはいないのかどうか、一高校教師として大きく揺らぎ苦しんでいる自分がある。

私の「情報」に対する教育観は、もしかしたら多くの高校教師にとって異端に見えるかも知れない。できれば、昔の私のように集団に埋もれて目立たないように生きたい。誰とも戦わずして、穏やかに過ごしていきたい。

そんな葛藤の最中に見たのが「Think Different.」のCFだった。いや、見せられたのだろう。

クレイジーな人たちは、誰も答えの出せなかった「宿題」を解いた人たちである。

果たして私に解けるだろうか。

「さて、あなたはどんな答えを出してくれるのかな。」

含み笑いととも、そんな親鳥のつぶやきが聞こえてきそうである。



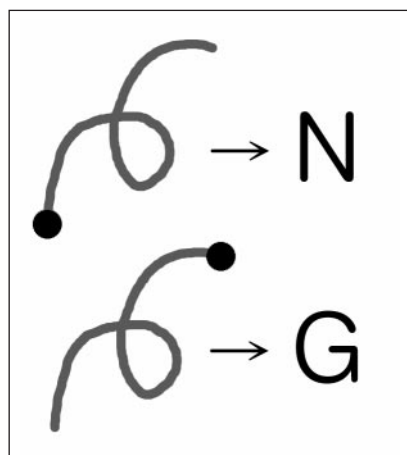
N と G の入力

できるだけ効率のいい入力を行なうため、graffiti文字を工夫しました。頻繁に使う割に案外書きにくいのが、N です。さらにG も工夫しました。色々に書いて、どのように認識されるか、試してみました。その結果、今では下図のような書き方をしています。

・場所で差のある文字認識

特に左半分の中央部分の感度が鈍い時があるため、モードを切替えた際時々不便を感じることがありますがそんな時には、右半分の数字エリアを積極的に活用しています。

マニュアルには大きく書いた方が認識率が向上するとありますが、文



この筆跡で N と G になる

字でも数字でも感度のいい部分を探して使えば、小さく書いてもちゃんと認識してくれます。

感度のいい部分の探し方としては、軽いタッチでタップして。。。を、連続して打ちます。そうしていくと、誤認しやすいところがわかります。そういう場所を避けて使うようにすると、入力ミスが減り、結果的に仕事能力が向上します。

現在自分はアルファベット入力エリアのおよそ左上1/4部分を使って小さく書いていますが認識率がかなり高く、また文字が小さくて済む分だけ入力スピードも速くなってます。

・初めてのローマ字入力

PDAを使う場合でも、文字の入力は、いつも通り仮名入力をしたいと思いました。しかし、仮名入力ができなくても、速くて小さいことの魅力に負けてしまいました。

かくして、人生初めてのローマ字入力の体得に挑戦することになりました。相当固くなってる頭をムチうちながら新たな思考回路を作り上げるのは容易なことではありませんでした。

しかし慣れとは素晴らしいもので、最近ではペンを持てばローマ字、キーボードに向かえば仮名と、自然に頭の回路が切り変わるようになってきました。

普段、ローマ字入力をやらないの

で、いままで知らなかったことですが、どうやらローマ字入力には、C 行というのがあるようです。それは「かしくせこ」です。

・KeepSleepは素晴らしい

ポケットにいられているうちにいつの間にかスイッチが入ることを防ぐために、上の図のように右下二つのスイッチを削って加工したのですが、そういうことを防ぐためにKeepSleepというソフトが作られていました。これを入れておくと、電源スイッチを押すことでしか起動しないようになります。これがあれば、削らなくてもよかったのです。残念！

・ペン入力感度向上メンテナンス

液晶をよせる→液をしぼる

変なことを言い出したと引いてしまわれそうですが、これは次のようなことなのです。

文字入力エリアの液晶面のどこかある一点をスタイラスでギュッと押してから徐々に力を抜いていくと、液晶のセンサーは押された圧力が解放される時に、そこに圧力が加えられていたことを認識するようです。

液晶面に天井の照明をうつしながらスタイラスで圧力を加えてみると、その付近に板の木目のような虹色の模様が生じます。表面直下に液層の存在を感じさせる現象です。

タッチセンサーのコンディショニング

そこで周囲から液晶内部の液を押し集めるようにすると入力エリアの感度がいくらかよくなるに感じますが、気のせいかもしれません。

改行や変換操作などはできるだけ数字認識エリアを使い、文字認識エリアの液に圧力が集中するのを防ぎ、液を周囲に押し出さないようにしています。

また、水銀体温計を振る要領で文字認識エリアを下に向けて振ることも多少の効果があるように感じられます。

したがって、最近ではポケットに入れて持ち歩く時にも文字認識エリアが下になるように配慮しています。そのかいあってか最近入力エリアの感度が安定しています。

今度新しいWorkPadを買う時には、文字認識エリアの感度を何台か試させてもらったうえで、一番感度のいいものを選ぶようにできればいいなあと思います。

・RAMは2メガで充分？

パソコンのRAMが100メガ以上というのが珍しくない昨今、2メガでいったい何ができるのでしょうか。最初は非常に不安でした。今この原稿も含めて約670件のデータが入っているのですが、その大きさはわずかに81Kしかありません。2メガの記憶容量のうち、実に95%が残っているのです。

思い出してみれば、初めて買ったMacは512kでした。それでもちゃん



往年の愛機 Duo 280 と c3

とOSを走らせ、様々なアプリケーションを走らせていたものです。そう考えれば、2メガはけっこう大きいものです。その上さらにOSやアプリケーションは別メモリーに組み込み済なので、作業ファイルの記憶だけなら、これで当分間に合いそうです。

現在95%ある空き容量が50%以下になった時点で8メガRAM搭載型の購入を検討すればいいと考えています。

・標準アプリを使い切る

このマシンの特徴のひとつに数多くのアプリが流通していることが挙げられると思います。しかし、あらかじめインストールされたアプリでも、十分に初期の目的を達成することができました。地図や辞典などを入れておきたい気持ちもあるのですが、まずは当面、使用目的を絞りこみ、多才な標準アプリを使い切りたいと思っています。

・誕生日

貴方は自分の誕生日が何曜日かをご存知ですか？

驚いたことにWorkPadには標準で1904年01月01日～2031年12月31日のカレンダーが装備されています。30年先までのカレンダーは、勿論役に立つのですが、100年近くも前のカレンダーがいったい何になるのでしょうか。その利用の仕方をあれこれ考えましたが、一番面白いと思ったのは誕生日が何曜日であるか、すぐわかることです。ちょっとした話材提供としても役立つことが多いです。

・落しても、まず大丈夫(^ ^)

生来のおっちょこちょいなもので、しばしば床に落してしまいます。本体にHDが内蔵されていないということは本当にありがたいもので、ほとんど壊れることがありません。



将来に向けて現在導入検討中

・今後への期待

メモの 카테고리メニューの改善に期待します。

例えば、パーソナルというカテゴリのメモを見ている時にビジネスカテゴリの一覧を見たくなったりします。そんな時には、そのままカテゴリのプルダウンメニューからビジネスをクリックしたくなるわけです。

するとどうでしょう、画面は何も変わらずに、今見ているメモのカテゴリがパーソナルからビジネスに変わってしまうのです。こんなに簡単にカテゴリが変わってしまっているのでしょうか？

画面左下には詳細というボタンがありますが、これをクリックするとカテゴリという項目が用意されているので、カテゴリの変更はこっちを使って行い、さっきの方法では見ているカテゴリが変わるように変更してもらえるとさらに使いやすくなると思います。

また、仮名漢字変換の反応がもう少しスピードアップしてくれば、申し分ないWorkPad c3ですが、私の脳の外部記憶装置として、すでに欠くことのできない存在になっているのです。



記事と編集



Zaurus ICRUISE (ザウルス アイクルーズ) は、SHARP 製のザウルスの最上位機種です。購入に至ったのは MMM'99 で青木さんに見せていただいたのが切っ掛けで、PDA としては現在唯一 VGA 画面(640×480ピクセル)の表示機能があることと、決定的だったのは Smalltalk が動作することでした。

下の画面は電源を入れた時に表示されるザウルスのホーム画面ですが、御覧のように最初からインターネットの Web 検索と電子メールがメインの機種であることが解ります。



特徴的な機能としてインターネットの予約録画(?)ができることです。新聞やインターネットニュースなど定期的に更新されるサイトを登録しておく、予約した時刻に自動的に接続して取り込んでおいてくれます。後はゆっくり読むだけ!



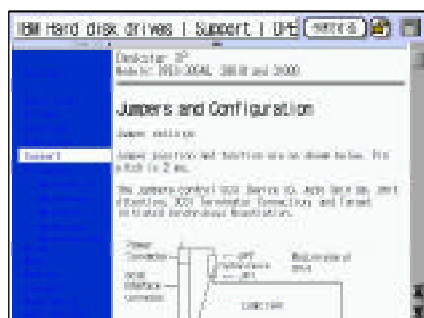
PC との連携は左の写真のように、付属するクレイドルと呼ばれる装置に装着して行います。残念ながら Mac との連携ソフトは有りませんので、Win.PC が無ければ連携はできません。

連携はできなくても、コンパクト・フラッシュ・メモリーが使えるので PowerBook の PC カードスロット経由で一部の形式のファイルのやり取りは何とかできます。

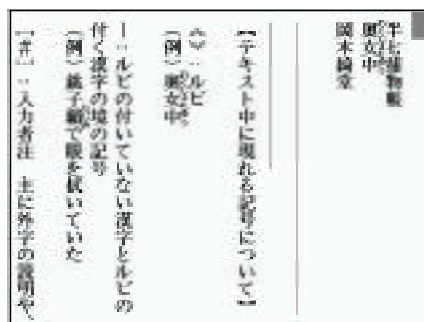


PDA といえば PIM (個人情報管理) 機能ですが、上記の画面のようにザウルスでは唯一月間スケジュールの画面で文字が表示されるようになっているものの、PIM 機能のユーザーインターフェイスは、従来のザウラー (ザウルスユーザのことを、こう呼ぶ) からも酷評されるほど使い勝手は良く有りません。

PIM を期待して ICRUISE を買うとがっかりするでしょう。

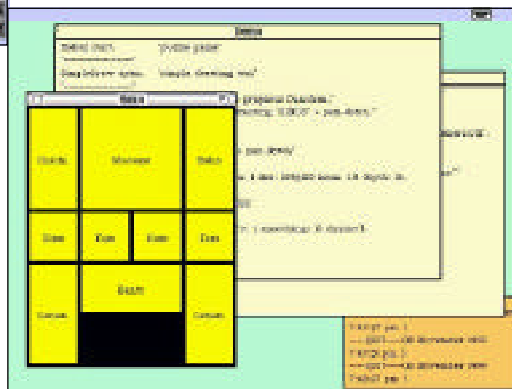


でも Internet を Cruise するという名前のおと、Web の閲覧では VGA の解像度は他機種を凌駕します。(上の画面は IBM の HDD 資料を見ているところ) ただし、E-Mail で送られた URL を Web ブラウザに Copy&Paste ができないなど不便なところも多く、まだまだ改良の余地があります。



意外に重宝なのが、青空文庫のザウルス版です。上の画面は青空文庫の電子ブックを開いたところです。縦書き表示でルビが綺麗に表示されているところが見えると思います。

ちょっと時間ができた時に気軽に読める本(?)があると便利です。勿論 ICRUISE でインターネットから直接持ってくることができるのでとっても簡単です。



ICRUISE を買った目的の一つだった Smalltalk (Squeak) は早速入れて動かしてみました。(上の画面)

一番表に出ている大小の升目が表示されているのは、サンプルとして付いてきたパズルのプログラムを動かして見ているところです。

Smalltalk が思ったよりキビキビ動くので、驚いています。

ただ、画面が小さいので、老眼の兆しが出てきた私の眼では、とてもまともには見えそうに無いのが残念な所です。(でも液晶の綺麗さは群を抜いているでしょ?)

モバイルで E-Mail と Web を使うだけなら、イチオシの PDA です。

(PIM は何と言っても Palm Pilot!)

絵と文: 野村 行憲



編集後記



今回の巻頭言はネタが無くて...
MACWORLD Expoにも行けなかったし...

野村



今回は熊谷さんに頑張ってもらいました。
北海道での健闘を祈っています。

佐藤

久しぶりの執筆で、締め切り間際にバタバタしてしまいました。編集だけならだいぶ慣れてきたのですが、文章も書きながらとなるとさすがに辛いですね。レイアウトを整えた後での脱字なんて最悪です。そんな苦勞（でもないけど）もナイトサロン（編集会議）の盛況さに癒された気がいたします。



Kumagai

P.2-P.5の会場風景写真は、すべてデジタルカメラ画像です。長土居さん、藤原さん、土村さん、そして私のカメラで撮ったものです。写真提供ありがとうございました。

熊谷

その他、記事と編集に携わってくださった方々のアイコンです。



★ 確認と、お願い! ★

今回、会員名簿は、2000年1月までに、会費、ご入金の手続きをしていただいた方のみ、掲載いたしました。

もしも、こちらの不手際により、掲載されていない方がおられましたならば、お手数ですが是非、ご連絡を頂きたいと思います。今回は最後の連絡となりますので、よろしくお願いいたします。

会計、名簿、担当者より

会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

尚、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合がありますので、宜しくお願いいたします。

会員近況報告

私のMac

私の愛機はPowerMac8500 G3改、PowerMac5500です。

8500は3Dとインコ育成、5500は通信とワープロ用です。

5500（中古）を買った時には既にiMacが発売されていましたが、（この時は）8500をG3化していないし、サブマシンの方が高速なんて嫌だ！という理由でiMacは止めました。

これからも旧世代のPowerMacを頑張って使います。iMacは買わないだろうなあ・・・

若くて色白の美男子！？より

新規このコーナーへの、みなさまからのショートコラムを、お待ちしております。

編集委員より！

会員名簿

阿部 好晴	IMF203	盛岡市	高橋 晃	IMF031	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	高橋 丈		盛岡市
沖野 覚	IMF044	二戸市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	高村 智		盛岡市
小野寺 俊博		盛岡市	田村 修	IMF242	盛岡市
神 達宏	IMF229	盛岡市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
川村 渴真		新宿区	土村 中	admin	盛岡市
菅野 研一	IMF211	盛岡市	照井 芳夫	IMF026	花巻市
木村 和男	IMF302	盛岡市	遠山 明人	IMF200	盛岡市
工藤 聡	IMF094	盛岡市	徳富 亘	IMF015	花巻市
久保 司	IMF235	山形村	戸塚 孝徳		盛岡市
熊谷 知暁	IMF273	九戸郡	中島 恵助	IMF236	盛岡市
斎藤 秀一	IMF109	滝沢村	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
酒井 裕之		花巻市	野村 行憲	IMF000	盛岡市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	檜山 邦彦		久慈市
笹川 順子	IMF220	盛岡市	福士 宙之		盛岡市
佐々木 綏		盛岡市	福田 健次	IMF005	花巻市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	藤澤 義栄	IMF209	花巻市
佐々木 則之		紫波郡	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	藤原 真理		宮古市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	三浦 秀徳	IMF283	仙台市
佐藤 雅子		盛岡市	三浦 吉範		盛岡市
佐藤 学	IMF119	金ヶ崎	村上 宏文	IMF099	盛岡市
佐藤 護人	IMF010	盛岡市	藪 敏裕	IMF214	盛岡市
白石 隆	IMF039	盛岡市	山子 則男		八戸市
杉村 栄一	IMF036	盛岡市	山田 政行		盛岡市
杉村 峰秀	IMF113	花巻市	山本 淳	IMF034	盛岡市
外川 正	IMF244	盛岡市			以上57名

例会案内

4月 22日(土)

5月 27日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所:

マリオス 7階

交流サロンにて

三月の例会

3月 25日(土)の例会は、盛岡駅裏西口にできましたマリオスの7階にあります交流サロンの中にありますオープン会議室を借りておこないます。

尚、駐車場は青空と立体の2カ所があります。

どちらも、150円/30分と、ちょっと高めです。

ナイトサロン案内

ナイトサロンは、毎月第二火曜日に、八幡宮境内にある喫茶店、愛名亭「茶欧」において、午後7時頃から開催しています。

是非、お時間のある方はお出てください。問題点などはその場で解決できると思いますよ!?

愛名亭「茶欧」

019-654-6249

IMF例会開催地地図



場所

マリオス 7階

交流サロン 会議スペース



「林檎」48号は...

First Class ATOK8

Color Magician EG-Bridge

EG-Word Freehand

HyperTerm Illustrator

MacPaint MacVJE

MacWrite NinjaTerm

NISUS PageMaker

PhotoShop SoloWiter

StreamLine SuperPaint

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microlineでプリントしました。

「林檎」第48号 2000/2/22

編集長 佐藤 護人

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村 行憲

020-0105 盛岡市北松園 3-34-2

非売品